



radio Camnetに続くマガジン版 心身健全

大槻ワールドへ
ようこそ

Camnetをお楽しみの皆様、いかがお過ごしですか？ ネットラジオ「心身健全！」のパーソナリティをしています、川崎医科大学衛生学 大槻剛巳です。さて、CAMNET マガジンの2016年9～10月号です。

さて、大槻は日本免疫毒性学会という比較的規模は小さいのですが、マジメに対象とする医学研究に向き合い、また、国際交流などもきちんとしている学会の事務局を10年以上務めています。【免疫毒性研究は化学物質や医薬品・食品成分による免疫不全、アレルギーや自己免疫を主な研究対象として発展してきましたが、近年、社会問題となる種々のアレルギーや感染症が増加し、また、種々の慢性疾患における免疫機序の関与が知られるに及び、これらに関連する免疫毒性研究が必須とされ、本学会への期待が増えています。】ということを行って、2006年には大槻も年会長を務め、倉敷市芸文館で開催しました。



毎年9月に学術大会が開催されます。2016年は北九州市で開催です。年会長は産業医大の森本先生です。このコラムを記している時点ではまだ様子をお知らせするに至っていないのですが、大槻は事務局として、毎年学会本体のWEB用に発表者・座長・質問者の皆様のお写真を撮らせていただいたり、勿論、発表もする予定になっています。



去年は京都大学百周年時計台記念館国際

交流ホールでの開催でした。「免疫毒性の新たな視点—毒性影響とかく乱影響—」がテーマとなっており、PM2.5など大気汚染物質などもメインの研究テーマとされている高野先生が年会長でした。



一昨年は、徳島文理大学で開催されました。薬学部の高野先生が年会長でした。「免疫毒性学研究の新たな一歩」をテーマに開催され、テーマ通りで、シンポジウムや座長などにも若手の研究者を多く登用され活気溢れる学会でした。



その前は東京の東海大学代々木キャンパスでの開催でした。化学物質過敏症やシックハウス症候群の第一人者である東海大学の坂部先生が年会長で、「免疫毒性学—未来図を探る」というテーマでした。代々木界限ってあまり足を踏み入れることが少ないので、ほんの合間に「ちょっと寄り道/ブラ@タケミ」するのも楽しみでした。



その前は慈恵会医科大学の柳澤先生が年会長で、「免疫毒性疾患の新しい様相」ということで大学内の講堂で開催されました。



場所は東京タワーの直下！ 通常、会期は2日間ですが、前日に理事会があって、大槻は事務局としてその資料の備から司会から引き受けているのですが、午後からなので毎年少し早めに到着して、かつ毎年、前述の様に会期中はずっと会場に最初から最後まで、それもほぼ一番前の席に陣取ってずっと写真撮影ですので、理事会前に「ちょっと寄り道/ブラ@タケミ」します。



と振り返っていてもキリがないので、この辺りまでにしますが、さて、この学会も今年が第23回の開催。大槻は4回目の大会くらいから参加していて、いつの間にかコアメンバーとなっていて、類似の小規模の学会はどれも似た様な課題めいたものを抱えていて、それは世代交代です。コアメンバーもあまり長く同じような体制で続けていくとマンネリズムが生じてきます。現在、この学会でも役員人事は一期三年で、この秋から刷新の時期になるのですが、少し若手に入ってもらいながら、今後の発展に期待して、大槻の様に長く携わった者は美しく引いていかなければって思っています。「よしだたくろう」さんの唄に「新しい船を今動かせるのは古い水夫じゃないだろう」というフレーズがありました。特に創設メンバーの方々は何年経ってもご自身のお子様の様に学会を可愛がられているのですが、そこから上手く更なる飛翔を目指さなければならぬと思っています。

radio Camnetに続くマガジン版

心身健全

大槻ワールドへ
ようこそ

さて、今月の一曲、1972年のオリジナルです。

ひとりのぼくだって

ぼくは 一人の世界で 過ぎ行く秋に
口を つぐんで歩くの 淋しい日暮れは
今日も 落葉を踏みしめ 街角 行けば
誰も 慌ただしく歩く後ろ姿ばかりさ

誰か ほがらかな 手紙を
ぼくの ポストに入れて
下手な 言葉しか 書けないけれど
返事を 出すくらい
ぼくだって できるから

街の 人ごみ逃れて 一人の部屋で
窓の 景色を見つめて ため息ばかりさ

ガラス 震わす風にも 挨拶出来ず
頬を 固く強ばらせて 淋しい歌 つぶやく

誰か この部屋の 扉を
そっと たたいてほしい
何も もてなしは 出来ないけれど
ほほえむことくらい

ぼくだって できるから

♪オリジナルCD
プレゼントします！
詳しくは
プレゼントコーナーで

プロフィール

大槻 剛巳
(おおつき たけみ)

川崎医科大学衛生学教授
0歳: 京都府福知山市にて
生誕
14歳: 京都府中学校陸上
競技大会にて100mハー
ドル2位
14歳: KBS近畿放送AMラジ
オでリスナーの詩として
採用
15歳: 倉敷市に転居
15&18歳: NHKあなたのメ
ロディー出演
18歳: YAMAHAポプコン全
国大会(譜面の部)出場

20歳: YAMAHA神戸との連
携で楽曲依頼あり
24歳: 川崎医科大学卒業
以降: 川崎医科大学血液
内科〜衛生学にて診療・
研究・教育に従事
1992-1996年: 米国留学(医
学研究)
1996年: 岡山県文学選奨
現代詩部門選外秀作とし
て「岡山の文学」に掲載
2009年: Camnet CH-F(10-
19)パーソナリティ担当
現在に至る